

総合型地域スポーツクラブってなに？

ちょっと自転車を走らせれば、そこに住民が希望するスポーツ種目と、年齢や技術レベル、目的に応じた指導を受けられるクラブがある。そんなスポーツクラブをつくってみませんか？

日本では、これまで学校や職場の運動部がスポーツの普及・発展に大きな役割を果たしており、また、地域のスポーツクラブも、単一種目型、一定の年齢層の人だけの活動としておこなわれてきました。

少子高齢社会の進展、生活環境の利便化に伴う身体活動の不足、コミュニティ意識の希薄化などが指摘される現在、21世紀においても活力ある社会を維持するためには、誰もが主体的、継続的にスポーツに親しめる地域に根差したスポーツ環境づくりが急務です。



総合型地域スポーツクラブの特徴

会員が自主的に運営している
拠点となる施設をもっている
複数のスポーツ活動を実施している
質の高いスポーツ指導者が配置されている

子どもから高齢者、初心者からトップレベルまで、様々な
年齢、技術、技能の保有者が参加している
地域住民の交流の場がある
運営経費は基本的に会費でまかなう
規約をつくっている